

日 田 商 工 会 議 所

商工会館建設特別委員会記録

1. 日 時 令和 6年 5月 2日 (木) 9時

2. 場 所 日田商工会館

3. 出席者名 (会 頭) 十時 康裕
(委 員) 瀬戸亨一郎、河津 龍治、佐々木美徳、富安 裕子、阿部 修、
本田 哲、宇野 弘士、佐竹 邦恵、河津賢太郎(代)
(オブザーバー) 高倉 貴子
(専務理事) 樋口 恒成
(事 務 局) 伊藤 宏、大石 昭典、春口 国博

4. 議題

1. 正副委員長の選出について
2. 商工会館建設・移転の必要性について
・商工会館の現状
3. 商工会館の建設・移転について
 - (1) 商工会館の建設
 - ①現商工会館を取り壊し、同じ敷地に新商工会館を建設するケース
 - ②別の土地を取得し、新商工会館を移転建設するケース
 - (2) 既存施設の購入・改修
 - ①既存施設を購入し、移転改修するケース
 - (3) 既存施設への移転
 - ①既存施設への入居（賃貸・区分所有）するケース

4. 意見交換

5. 会議概要

定刻となり、樋口専務理事より開会を告げ、十時会場より開会に際してのあいさつがある。あいさつの後、議題1. 正副委員長の選出について、上程。意見を募るも特になく、会場より、事務局（案）を求める。専務理事より、委員長には瀬戸副会頭を、副委員長は佐々木委員にお願いしたい旨提案がなされ、意見等募るに異議なく満場一致で承認される。

委員長に就任した瀬戸副会頭より、改めて挨拶がある。数十年に一度の稀有な機会であるが、少しでも良い会館の更新ができるよう尽力したい、との所信が述べられる。

以後、瀬戸委員長が議長となり、議事の進行にあたる。

議題2. 商工会館建設・移転の必要性について、上程。事務局へ説明を求める。

専務理事より、資料に基づき、会館の概要、更新の必要性について説明が行われる。

議長より質問等募るも特になく、引き続き議題3. 商工会館の建設・移転について、を上

程、説明を求める。

専務理事より、資料に基づき想定される3パターンについて、県内の会議所の事例を紹介しつつ説明が行われる。

説明終了後、議長より質問等募り、議長より、現状の資金準備残高について事務局へ質問があり、専務理事より、会館建設資金積立金ではないが、前年度末時点で運営資金積立金が1億7千万円程になっているとの報告がなされる。

(阿部委員) (2)や(3)のパターンの場合、現在の商工会館の敷地の利用法を検討しておくべきではないだろうか。

(宇野委員) 資材高騰の現状を考慮すると、1億7千万円ていどでは建て替えは難しいだろう。今の会館を改修するにしても、耐震基準がクリアできないだろうと思われる。

(会頭) 市からは、産業振興センターに移転してはどうか、との提案も頂いている。

(宇野委員) 商工会館も振興センターも当社の設計によるものだが、振興センターは、新しい耐震法の基準のもと設計されているため、耐震面だけで考えると、商工会館よりは丈夫だと言える。耐震についても調査の結果、あと30年程度は十分にクリアできる構造になっている。

(瀬戸委員長) 振興センターへの移転も一つの候補として検討すべきと考える。オブザーバーの高倉氏よりお話を頂きたい。

(高倉氏) 本日は、会議所議員や日田市議会議員としてではなく、三本松自治会の新公民館建設委員会のメンバーとして情報提供のために出席させて頂いている。ご承知の通り、昨年の11月に三本松コミュニティーセンターが焼失し、現在は商工会館に間借りしているところであるが、自治会としては、今年度中には設計の詳細まで完成させ、7年度には着工したい意向であり、住民の利便性を考慮し、少しでも早く供用を開始したいと考えている。これは3月の自治会の総会において確認された事項である。但し、土地が485㎡しかないが、新公民館は平屋で計画しており、商工会館が現在地で建て替え等を検討するのであれば、お互いに情報共有することで、効率的・効果的な建設事業になると有難い、と考えているところである。

(佐々木副委員長) 先ほど、三つの(案)の提示があったが、資料としてそれぞれのケースに対しての費用面での試算があると検討し易いのではないかと思う。

(瀬戸委員長) 確かに仰る通りであり、今後事務局にて調査・積算を行いたい。

(富安委員) 費用の件が最大の課題であろうが、産業振興センターも築30年以上経過しており、今後の事を考慮すると、耐久性等に関して検討材料となる資料を拝見したい。

(佐竹委員) 会員の高齢化に伴い、エレベーターの付いていない現商工会館では4階の会議室で会議ができない状況になっている。産業振興センターへ移転した場合、建物の設備や利用方法がどのようになるか、想定(案)があればお聞きしたい。

(十时会頭) その辺りの課題については、現状全く検討できていない状態である。

(本田委員) これだけの土地がすぐに売れるとは考えにくいですが、売却できれば建設資金として活用できるのではないか。

(河津(賢)氏) 資金手当ての部分が大きい課題だと思うが、活用できる補助金や助成金があ

るのではないだろうか。例えば、建物の耐震補強工事を行う際には補助金が用意されており、市内の高等学校が校舎の改修をする際に実際に利用した事例がある。

(瀬戸委員長) 本日の会議で各位から意見があったように、検討材料となる資料の積み上げがまだまだ必要だと考える。そのうえで現状を正確に把握し、いずれかの(案)に絞り込んでいく作業が必要となってくるであろう。

(高倉氏) 三本松コミュニティセンターの建て替えにあたっては、コミュニティ補助金(上限450万円)と宝くじの助成金(上限1,500万円)を活用する計画である。

(瀬戸委員長) 三本松自治会の事も考慮すると、商工会議所としての方向性を早期に示す必要があるだろう。

(河津委員) 建設業協会の支部長としては、是非建て替えの方向で検討頂きたいが、会議所の財政状況を把握している副会頭の立場としては、移転・改修が現実的であろうと考えている。個人的な予想だが、新築建て替えとなると建設資金として5億円程度は必要であろうと考える。移転・改修は程度によるので、一概にいくらくらいかと予想するのは難しい。

(瀬戸委員長) 本来の会議所業務に必要な面積はどれくらいか、という点についても検討しておくべきであろう。事務局にて、各種の積算根拠や資料等を調査し次回の会議に臨みたいと思う。また、必要に応じて候補地・候補施設や先進事例の視察も検討すべきとも考えており、引き続き、皆様方のご協力を賜りたい。

(河津委員) 確認した訳ではなく、言質を取った訳でもないため間違ってるかもしれないが、個人的な感触としては、産業振興センターに移転した場合、これまでの市の担当課との交渉の印象として賃借料は不要になるのではないかと感じているところである。

また、移転新築の候補地としては、寿通りの旧西日本銀行日田支店跡地や駅前の宝屋支店なども考えられるのではないかと考えている。市内各所に天領水が所有している土地も、会長が亡くなられ、売却の方向に会社の方針が変わってきてる、という話も聞いている。

(富安委員) 現在の商工会館に入居しているテナントについても検討しておく必要があるのではないかと。可能であれば、市が一体的に環境整備してくれると良いのだが。

(河津委員) 産業振興センターは、商工会館の約2倍の敷地となる約3,300㎡である。

(十時会頭) 産業振興センターの理事を務めているが、センター自体の事業はここ数年赤字続きであり、ふるさと納税事業の利益で赤字を補填しているような状況である。ふるさと納税事業は市が直接行えば良い事業であり、振興センターが担う必要はないように感じている。現在の会議所の土地を駐車場として整備すれば、振興センターまで数十メートルであり、移転の大きなメリットとなるのではないかと考えているが、三本松自治会が振興センターに移転するという選択肢はないのだろうか。

(高倉氏) 振興センターの駐車場は建物に対して手狭であり、駐車場確保の問題がネックになってくるだろうと思われる。

以上で、意見交換を終え、委員長より謝辞を述べた後閉会を告げる。

(10時00分)